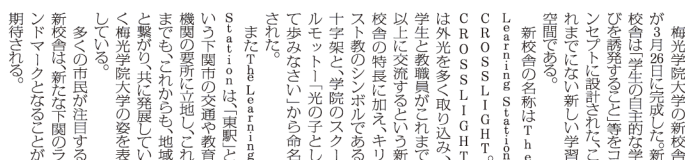


The
Learning
Station

CROSS

LIGHT



Dr. Yoko Kato is a smiling woman with shoulder-length brown hair and glasses, wearing a light-colored jacket over a dark top. She is positioned in front of a blurred background of green foliage and a building.

梅光学院
学院長・大学長
樋口 紀子氏

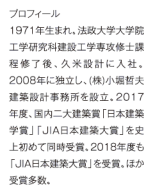
開学を祝し、建設を進めて参りました新校舎 The Learning Station CROSS Lighthouse が無事完成いたしました。これほどよい日に頂くご支援・ご協力いただいたり致します関係の皆様誠に施工に携わって下さった皆様のご尽力の賜と心から感謝申し上げます。

本校舎は、変化が激しいこれから先の時代に「一層必要となる」考えられ、や新しい価値を生み出す力を育むために、授業だけでなく生活のすべての時間において、また教室においても、体験・経験型の学びが可能となります。

さらに、本校の特長である教職協働の体制と職人がこどもを育てる③の観点から、今後は職員全員が、一階のフリースペース制オフィス(働き場)で生徒たちと共に学びます。生徒たちも必死にがんばっているのを、これまで以上に先生と教師間・交流が生まれることを期待しています。

つまり、新校舎のコンセプトは、建物によって坐布トは、建物によって坐布トは、働き場②(半生労働)のあり方を変えるべきです。これは私たちにこそ大きな挑戦です。加えて一階のトラップアップカウエストラフは地域の方にも利用いただけるものですが、地域の人々だけではなく、都市活性化も視野に入れた人口減少への対策としていられるのです。梅光の新しい学校が始まります。

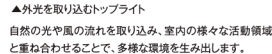
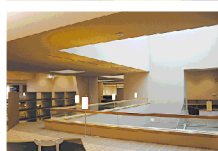
50年が始まります。



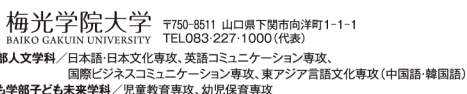
フロアの中央には、学生にワンストップサービスを提供するインフォメーションカウンターを配置。学生たちがさまざまなサービスを受ける拠点となります。また学生が毎日訪れるこのフロアには、教職員協働の場となるフリースペース創設オフィスを設置。学生と教職員のコミュニケーションもこれによって以上に促進され、学生のさらなる成長が期待されます。さらに、地域の皆様にも利用いただける「トラットリア（カフェレストラン）」は、ヨーロッパのレストランをイメージし、食育や環境教育に活用されるほか、コミュニケーションの場としても活用されます。

2階には収容人数の異なる大小のガラス張りの教室を4室配置します。ガラス張りすることで、教員・学生双方にとって外部から「見える」だけでなく「緊張感をもって授業の質が向上する」とを期待しています。また、大教室であつても、アクティブラーニング型授業に対応できるように、可動式の机を採用、ガラス張りの教室を4室配置したこのフロアには、365種類のサイズがあり、多様な個性が集まることで多岐にわたるサポートをします。また、テーブルやホワイトボードパネルなど、自由に組み合わせることで様々な学びを空間として

発表の準備をしたり、サークルのミーティングをしたり、集中して自習したり…。学生の多様な活動に対応するスペース「アクティヴスペース」が設けられています。1階下は「教室」の項目が少なく人数利用に応じて使い分けが可能となります。学生の主体性をさらに引き出されるフロアです。さらに、床面がホワイトボードになったスペースや階段状のベンチ、うねうねと続く巨大なソファなど、遊び心あふれる空間が点在し、学生の創造力をより一層高めます。



留学率No.1

※「THE世界大学ランキング日本版2017年」より/全学生による卒業または1学期に満たない留学期間経験者の割合

(順不同)

〒113-0001 東京都文京区白山1-5-4 HAKUTSUBOビル3F
TEL 03-6801-8321 FAX 03-6801-8325

〒730-8535 広島県広島市中区上八丁堀8-2
TEL082-225-4611 FAX082-227-4677